Form No. 3435-691 Rev B

48", 52", 60" ブロア駆動キット

GrandStand® モア

モデル番号 78525—シリアル番号 400000000 以上

モデル番号 78526—シリアル番号 400000000 以上

モデル番号 78527—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

重要 **このアタッチメントにはドライブツイールまたはキャスターツイールを使わないこと。マシンにドライブツイールまたはキャスターツイールが装着されている場合は、工場出荷時の空気入りドライブタイヤ、または空気入りまたは半空気入りキャスタータイヤに交換すること。**

注 このキットは、E-Z Vac ツインバガー用の製品ですバガーの安全な取扱いや保守整備については、バガーの*オペレーターズマニュアル*をご覧ください。

重要 **以下に該当するグランドスタンドでは、本製品の取り付け・使用前にクラッチの入切操作を少なくとも 50 回行ってください。**

- **モデル 74513 — シリアル番号 405291650 およびそれ以前の製品**
- **モデル 79518 — シリアル番号 405291708 およびそれ以前の製品**
- **それ以外の全モデル — シリアル番号 405453838 およびそれ以前の製品**

クラッチを入れる時は 45 秒間以上、クラッチを外す時は 15 秒間以上の操作を行ってください。この操作は、本キットを取り付ける前にマシンを通常使用している状態で行っていただくことができます。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

安全について

安全ラベルと指示ラベル

危険な部分の近くには、見やすい位置に安全ラベルや指示ラベルを貼付しています。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal133-8061

133-8061

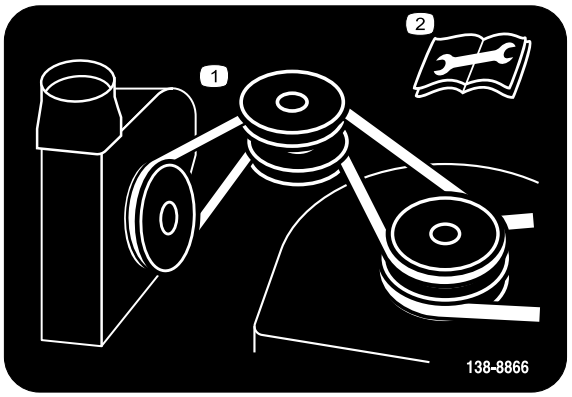
© 2025—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

この文書は翻訳です。 (JA)

Printed in the USA
禁無断転載

3435-691



decal138-8866

138-8866

1. ベルトの掛け方
2. 整備作業を始める前に、*オペレーターズマニュアル*を読むこと。



decal136-4087

136-4087

1. 警告 *オペレーターズマニュアル*を読むこと。
2. 警告 聴覚保護具を着用のこと。
3. 異物が飛び出す危険使用前に必ず集草装置を取り付け、ラッチを確認すること。
4. インペラによる手の切断の危険 可動部に近づかないことすべてのガード類を正しく取り付けて使用すること。
5. インペラによる手の切断の危険PTOを解除し、エンジンキーを抜き取り、各部が完全に停止するまで待つこと。
6. 警告 走行できなくなる危険。カウンタバランスウェイトのみで運転しないこと。E-Z Vac のみを取り付けた状態で運転しないこと。必ず E-Z Vac とカウンタバランスウェイトの両方を取り付けて運転すること。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行う。
3	ブロアのマウント ボルト½ x 1½" ロックワッシャ ナット(½" ボルト⅜ x 1¼" ナット⅜" キャリッジボルト3/8 x 1 1/4" キャリッジボルト⅜" x 1" アイドラアセンブリ プーリアセンブリ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	プーリとアイドラアセンブリを取り付ける鋳鉄製スピンドル搭載マシンの場合
4	プーリアセンブリ ボルト½ x 1½" ロックワッシャ ナット(½" ボルト⅜ x 1¼" ナット⅜" キャリッジボルト3/8 x 1 1/4" キャリッジボルト⅜" x 1" プーリプレート用マウント フランジナット⅜"	1 1 1 1 1 1 1 1 1 3	プーリアセンブリとベルトを取り付けるアルミニウム製スピンドル搭載マシンの場合
5	ブロアアセンブリ ベルト ベルトカバー ノブ ホース ホースクランプ	1 1 1 1 1 1	ブロアアセンブリ、バッフル、ベルト、ベルトカバーを取り付けます。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

ブロアと仕上げキットを取り付ける準備として、以下の作業を行ってください。

1. PTO を解除し、走行コントロールレバーをニュートラルロック位置にセットし、駐車ブレーキを掛ける。
2. エンジンを停止させ、キーを抜き取り、各部が完全に停止したのを確認してから運転位置を離れる。
3. デッキの破損や曲がりをすべて修理し、なくなっている部品をすべて取り付ける。
4. 機体をきれいに洗浄する。特に、取り付け位置となる機体後部に汚れがないようにする。

2

排出シュートと既存のベルトカバー外す

必要なパーツはありません。

手順

注 バガー関係の取り付け金具等はすべて保管し、バガーを再取り付けする際に使用してください。

1. 排出シュートをデッキに固定しているボルト5/16 x 7½" とナット5/16" を外す。シュート、スプリング、スペーサを取り外す図 1。

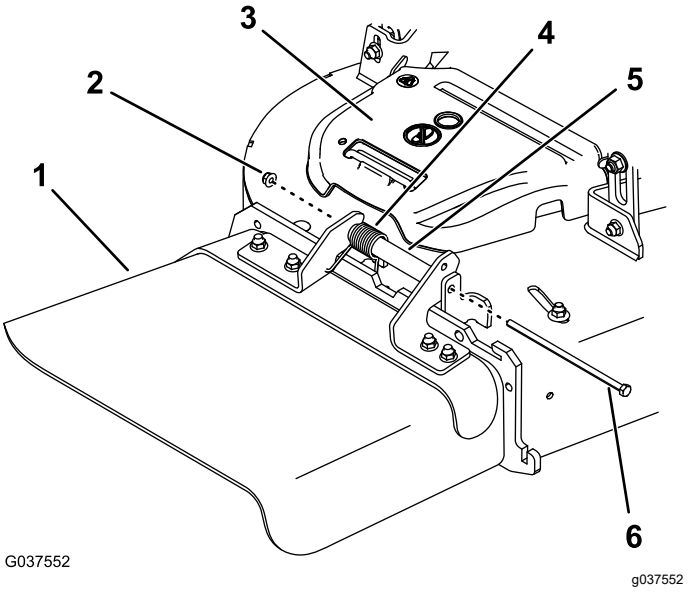


図 1

1. 排出シュート
2. ナット5/16"
3. ベルトカバー
4. スプリング
5. スペーサ
6. ボルト5/16 x 7½"

2. ベルトカバー図 1を取り外す。
3. デッキから、ワイヤフォーム、バッフル、キャリッジボルト3/8 x 1"2本、ナット3/8"4個を外す図 2。

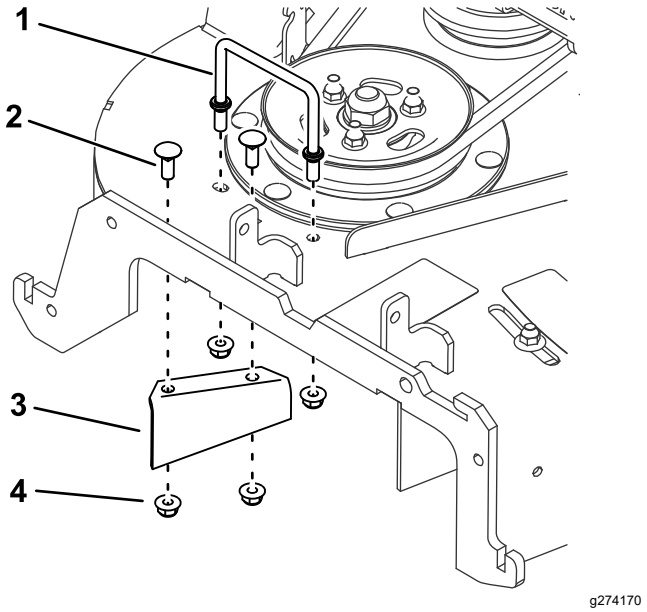


図 2

1. ワイヤフォーム
2. キャリッジボルト ⅜ x 1"2本
3. バッフル
4. ナット3/8"4個

3

プーリとアイドラアセンブリを取り付ける

鋳鉄製スピンドル搭載マシンの場合

この作業に必要なパーツ

1	ブロアのマウント
1	ボルト½ x 1½"
1	ロックワッシャ
1	ナット(½"
1	ボルト⅜ x 1¼"
1	ナット⅜"
1	キャリッジボルト3/8 x 1 1/4"
1	キャリッジボルト⅜" x 1"
1	アイドラアセンブリ
1	プーリアセンブリ

手順

1. 図 3のように、ブロアのマウントをデッキに取り付けるボルト½ x 1½" 1本、ロックワッシャ1枚、ナット ½" 1個、ボルト ⅜ x 1¼"1本、ナット ⅜" 1個を使用する。

   注 ブロアマウントを取り付ける時、デッキに整列させにくい場合には、バッフルボルト3本を外してください。取り付け後は、ボルトを締めつけてください。

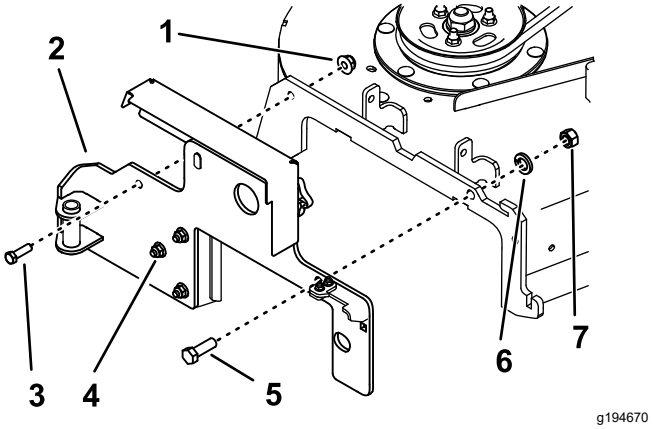


図 3

1. ナット(⅜"
2. ブロアのマウント
3. ボルト⅜ x 1¼"
4. バッフルボルト3本
5. ボルト½ x 1½"
6. ロックワッシャ
7. ナット(½"

2. 右側デッキプーリのスピンドルからナットを外し、これらを使ってプーリアセンブリをデッキプーリに取り付ける図 4。

   注 プーリアセンブリを取り付けるときデッキのテンションをゆるめる必要がある場合には、デッキのベルトを外してください。車両の*オペレーターズマニュアル*を参照のこと。

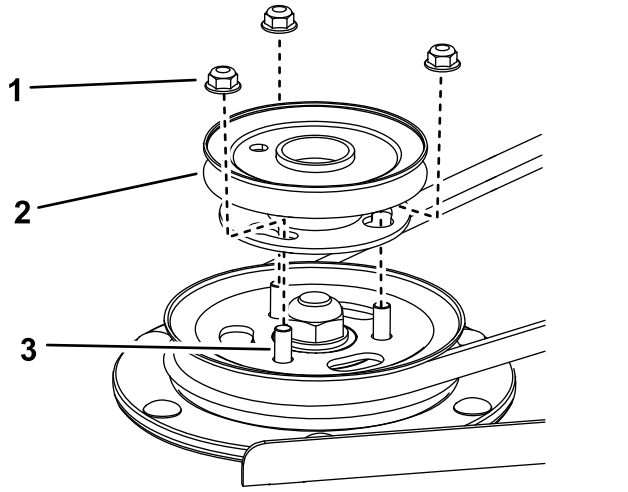


図 4

1. ナット
2. プーリアセンブリ
3. スピンドル

3. アイドラアセンブリをデッキに取り付ける先ほど外したナット3個の他に、キャリッジボルト⅜ x 1¼"1本、キャリッジボルト⅜ x 1"2本を使用する図 5。

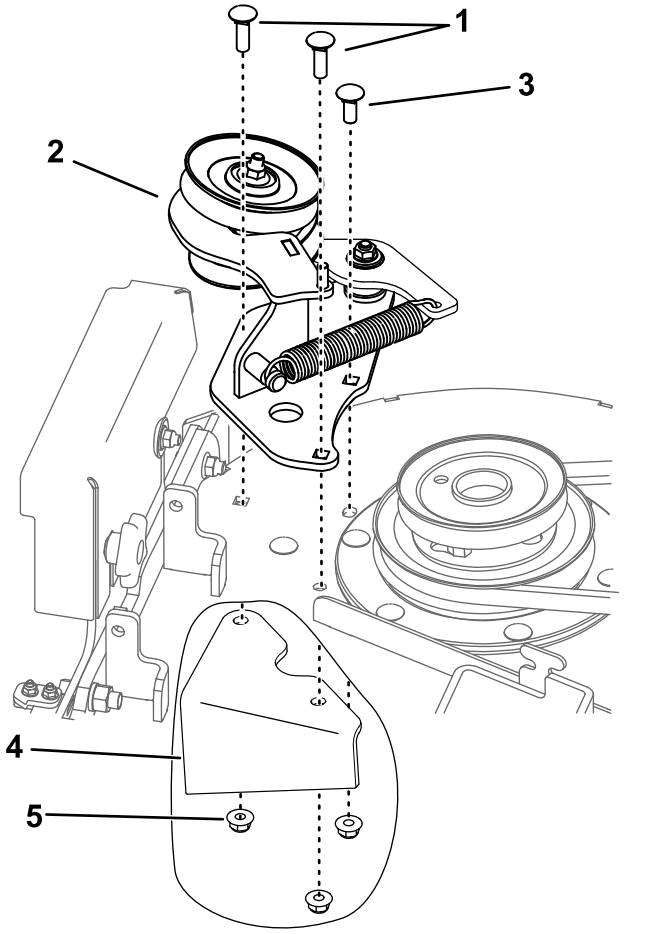


図 5

1. キャリッジボルト⅜ x 1¼"
2. アイドラアセンブリ
3. キャリッジボルト⅜ x 1"
4. デッキ
5. ナット刈り込みデッキの下

4

プーリアセンブリとベルトを取り付ける

アルミニウム製スピンドル搭載マシンの場合

この作業に必要なパーツ

1	プーリアセンブリ
1	ボルト½ x 1½"
1	ロックワッシャ
1	ナット(½"
1	ボルト⅜ x 1¼"
1	ナット⅜"
1	キャリッジボルト3/8 x 1 1/4"
1	キャリッジボルト⅜" x 1"
1	プーリプレート用マウント
3	フランジナット⅜"

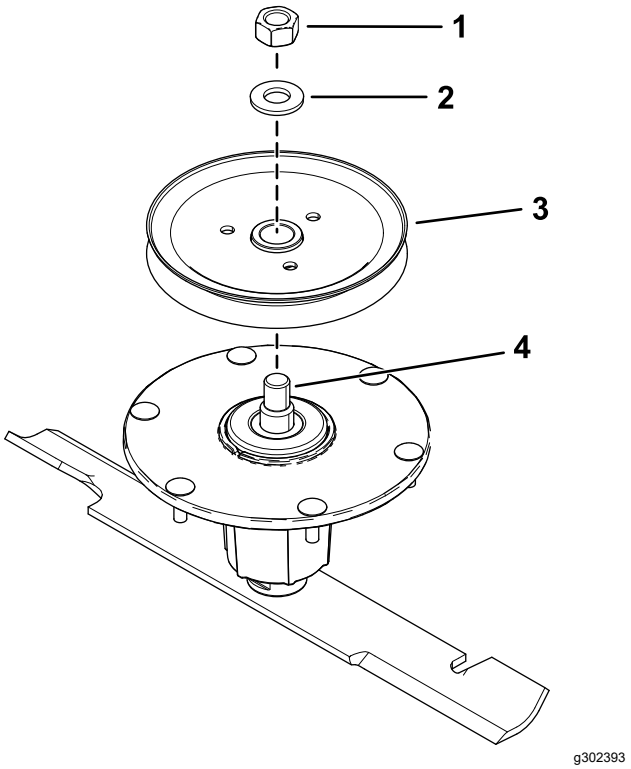
手順

1. 図 3のように、ブロアのマウントをデッキに取り付けるボルト½ x 1½" 1本、ロックワッシャ1枚、ナット ½" 1個、ボルト ⅜ x 1¼"1本、ナット ⅜" 1個を使用する。

   注 ブロアマウントを取り付ける時、デッキに整列させにくい場合には、バッフルボルト3本を外してください。取り付け後は、ボルトを締めつけてください。

2. スピンドルから、上部ナット、ワッシャ、シーブを外す図 6。

   注 シーブの向きに気を付けてください。取り付け時に向きを間違えないように注意が必要です。

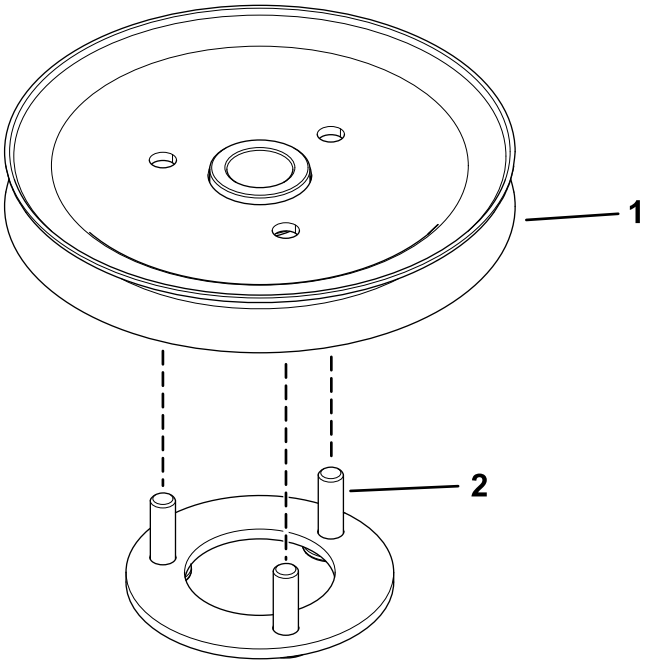


g302393

図 6

1. 上部ナット
2. ワッシャ
3. シーブ
4. スピンドル

3. プーリプレート用マウントのスタッドを、シーブの穴に通す図 7。



g302390

図 7

1. シーブ
2. プーリプレート用マウントのスタッド

4. スタッドにナット3個を仮止めする図 8。

   ナットとシーブとの間に 5 mm のすき間を残すこと。

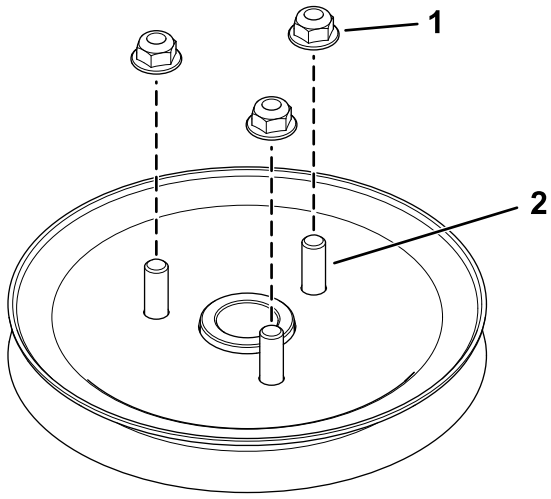


図 8

1. ナット
2. スタッド

5. ワッシャと上部ナットを使って、シーブアセンブリをスピンドルに取り付ける図 9。

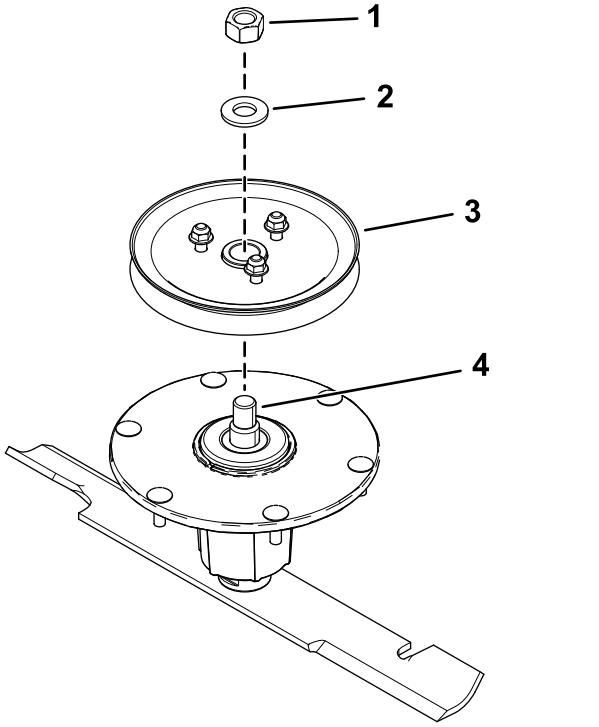


図 9

1. 上部ナット
2. ワッシャ
3. シーブアセンブリ
4. スピンドル

6. 上部ナットを176-217 N·m18-22 kg.m = 130-160 ft-lbにトルク締めする。

   注 シーブが自由に回転することを確認する。

7. 新しいプーリアセンブリを取り付けるスタッド穴をスタッドに合わせて取り付ける図 10。

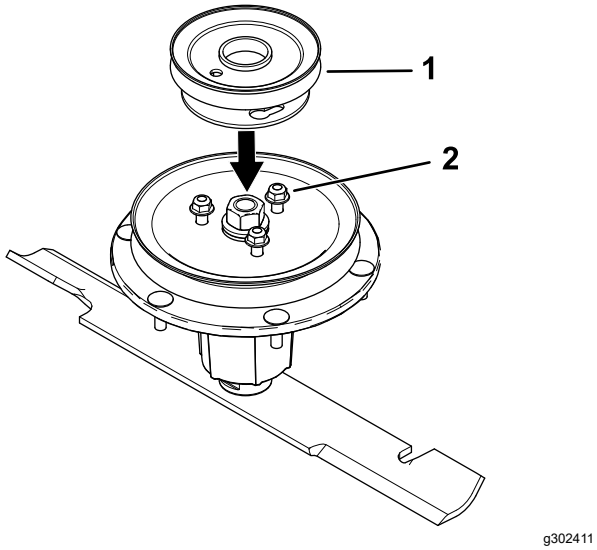


図 10

1. プーリアセンブリ　　2. ナット

8. プーリを回してロックする図 11。

   注 プーリが回転しない場合にはナットをゆるめて上に移動させてプーリをロックしてください。

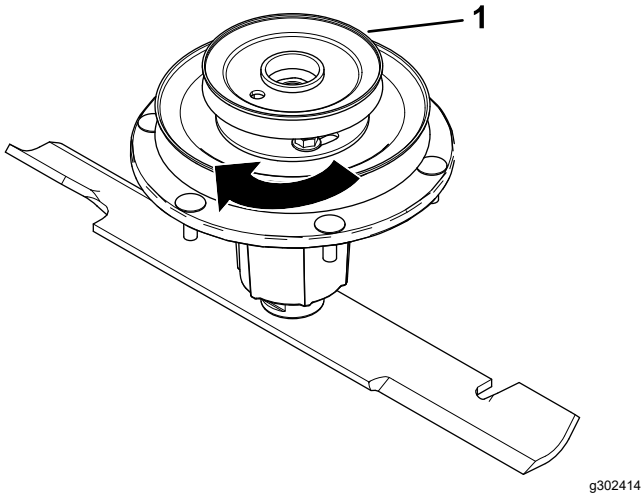


図 11

1. プーリアセンブリ

9. 新しいプーリアセンブリがついたら、ナットを本締めして新しいプーリアセンブリを固定する。

   ナット3個を 28-34 N·m2.9-3.4 kg.m = 21-25 ft-lbにトルク締めする。

10. アイドラアセンブリをデッキに取り付ける先ほど外したナット3個の他に、キャリッジボルト⅜ x 1¼"1本、キャリッジボルト⅜ x 1"2本を使用する図 5。

11. デッキベルトを取り付ける。

5

ブロアアセンブリ、ベルト、ベルトカバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ブロアアセンブリ
1	ベルト
1	ベルトカバー
1	ノブ
1	ホース
1	ホースクランプ

手順

ブロア、バガーベルト、スプリング、およびブロアベルトカバーの取り付け手順については、バガーの*オペレーターズマニュアル*を参照してください。

メモ

メモ

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが張られた製品を見かけることがあるでしょう



警告ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへhttps://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all。

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえてProp 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。